



た か だ こ ら む

メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2016 プラントメンテナンスショーに出展

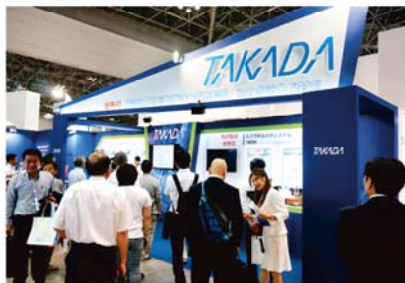
2016年7月20日（水）～22日（金）の3日間、当社は東京ビッグサイトで開催された「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2016 プラントメンテナンスショー」に出展しました。プラントメンテナンスショーは工場の設備管理・保全技術に関する国内唯一の専門展示会で、会期中の来場者は共催の展示会も含めて約32,000人で、会場は大変な賑わいでした。

当社のキャッチフレーズは、『世界初 電流による回転機械の状態監視 IoT クラウド対応』で、電流情報量診断システム T-MCMAを中心に、保有する多様な技術サービスについて、パネルを展示し、診断デモ機を用いてプレゼンテーションを行いました。また、出展者セミナーでは T-MCMA の概要を説明し、1,000 名を超えるお客様にご高覧頂き、好評を博しました。

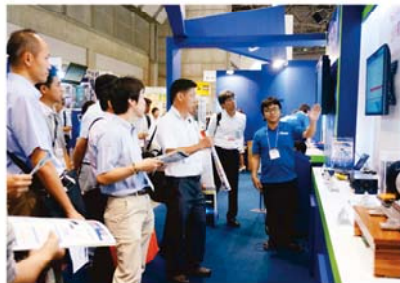
このような機会を通して、お客様のニーズを掴み、それに応えられるように技術開発をこれからも続け、商品と技術サービスを多くのお客様に展開できるようにしていきたいと思っております。

<展示した商品・技術サービスと概要>

回転機械診断	
電流情報量診断システム (T-MCMA)	モータ配線の電流信号を計測するだけで、モータを含めた回転機械系の状態を診断（商品を展示し、診断デモを実施）
低速回転機械の診断	当社開発の複合センシング技術による低速・大負荷設備の診断
材料劣化診断・保全	
破壊と損傷の解析技術	応力腐食割れや微生物腐食などの破壊や損傷の解析と補修技術
検査技術	
大口径管の内面検査	ロボットを用いた水平管、エルボおよび垂直管の内面目視検査（実機を用いたデモを実施）



高田工業所ブース



デモの様子



出展者セミナー会場の様子

山下 政一郎（技術本部 診断サービス技術部）